

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	LEGONKids S			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		～	2025年 3月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	19
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日		～	2025年 3月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プレイルーム、運動ルーム、学習室、個室があり 人数や時間帯によって部屋を使い分けることが出来る	・時間帯で人数を決めて使っており、児童が安全に 過ごせるようにしている ・児童がクールダウンできる場所を確保している ・児童自身がスケジュール管理が出来るようになっている	・より安全に過ごすことが出来るよう、 各部屋の職員配置も検討していく ・個室の使用を児童自身の状況に応じて 選択できるようにしていく ・個々に応じて、スケジュールの伝え方を変えていく
2	活動プログラムが、固定化されないように 様々なプログラムを用意し、1年間で見直しを行っている 【チャレンジタイム・基礎トレーニング等】	・児童が楽しめるよう、職員で意見を出し合っている ・児童の様子を見て、プログラム内容を職員で 検討する機会を設けている	職員会議等で、意見を出し合う機会を増やしていく
3	個々に応じた、プログラム・支援内容を考え、 取り組んでいる【個別課題（運動・手先）・学習等】	モニタリングや、保護者様からの相談を聞き取り、 プログラムや支援内容を共有・検討している	保護者交流会や個別相談の機会を増やす

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職（理学療法士・作業療法士）との相談の機会が 少ない	保護者様からの発信で取り組んでいることはあるが、 事業所からの発信が少ない	専門職がアドバイスや助言できる機会を増やしていく モニタリング、保護者様交流会、個別相談等
2	避難訓練や緊急時の対応について、 保護者の方にわかりやすく伝えられていない	事業所内やビル全体で取り組んでいるが、 保護者の方に十分に伝達が出来ていない	避難訓練の様子を伝えたり、緊急時の対応について 発信していく 保護者様参加型の避難訓練も検討していく
3	地域交流が少ない	地域のイベントには数回参加しているが、 参加回数が少ない	・地域のイベント参加を増やしていく ・事業所で地域の方が参加できるイベントを検討していく